

2040年を見据えたがん医療体制の均てん化と集約化
神奈川県がん診療連携協議会
の取り組みと課題

神奈川県がん診療連携協議会 会長

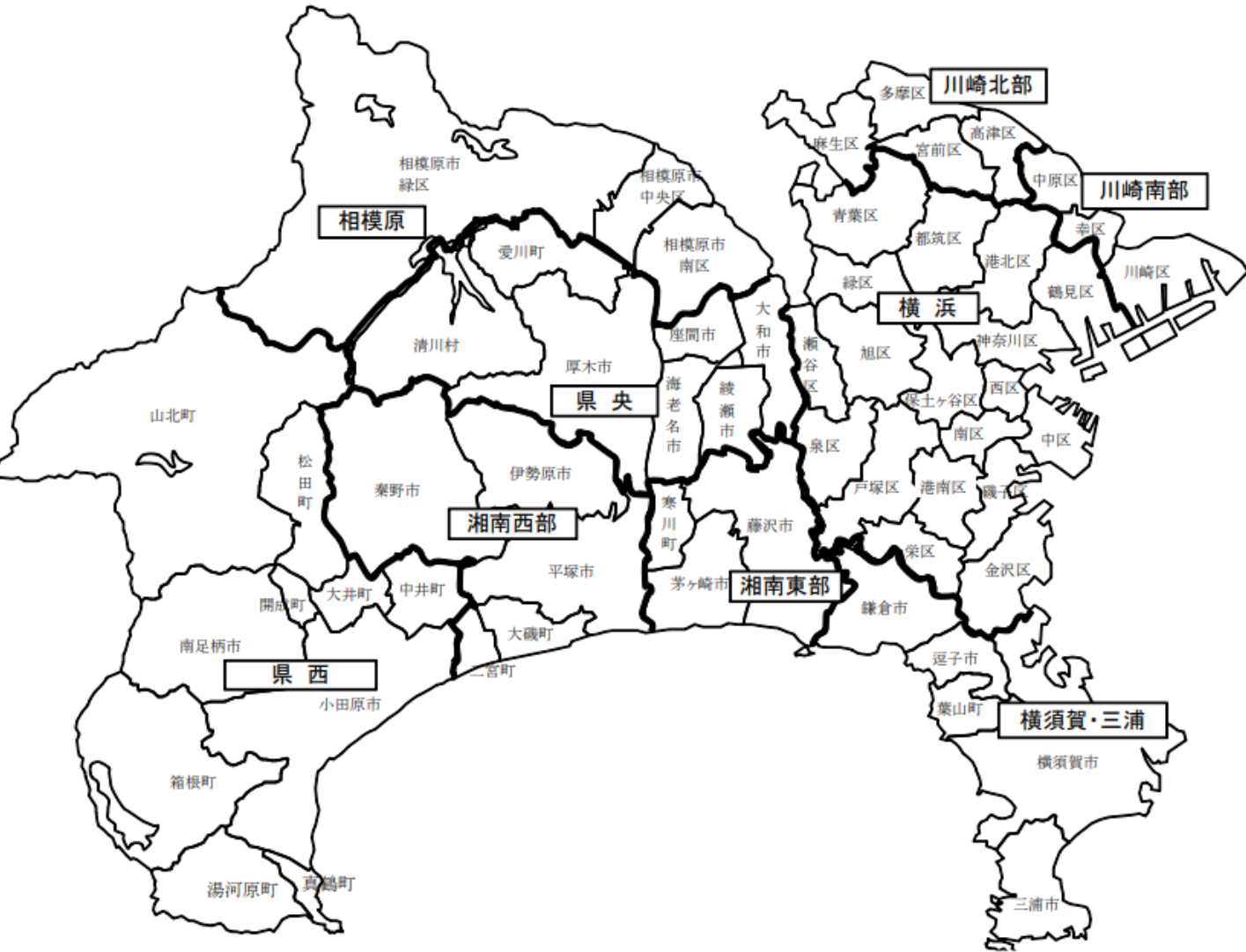
神奈川県立がんセンター 病院長

酒井 リカ



神奈川県立 生命の星・地球博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

第8次神奈川県保健医療計画における 保健医療圏の設定



二次保健医療圏	構成市（区）町村	人口（人）	
横浜	横浜市	3,772,029	
	（旧北部）	鶴見／神奈川／港北／都築／青葉／緑	1,611,804
	（旧西部）	西／保土ヶ谷／旭／瀬谷／泉／戸塚	1,112,696
	（旧南部）	中／南／港南／磯子／栄／金沢	1,047,529
川崎北部	高津／宮前／多摩／麻生	872,786	
川崎南部	川崎／幸／中原	666,039	
相模原	相模原市	726,025	
横須賀・三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、 葉山町	685,839	
湘南東部	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町	734,113	
湘南西部	平塚市、秦野市、伊勢原市、 大磯町、二宮町	579,523	
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、 綾瀬市、愛川町、清川村	854,144	
県西	小田原市、南足柄市、中井町、 大井町、松田町、山北町、開成町、 箱根町、真鶴町、湯河原町	338,290	
(県全体)		9,228,788	

出典：令和4年1月1日現在「神奈川県年齢別人口統計調査」

1
22
12
1

- 都道府県がん診療連携拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 神奈川県がん診療連携指定病院
- ▲小児がん拠点病院

72.3万
(2+1)
(24万/施設)

87.9万
(2)
(44万/施設)

67.7万
(3+1)
(17万/施設)

32.7万
(1)
(33万/施設)

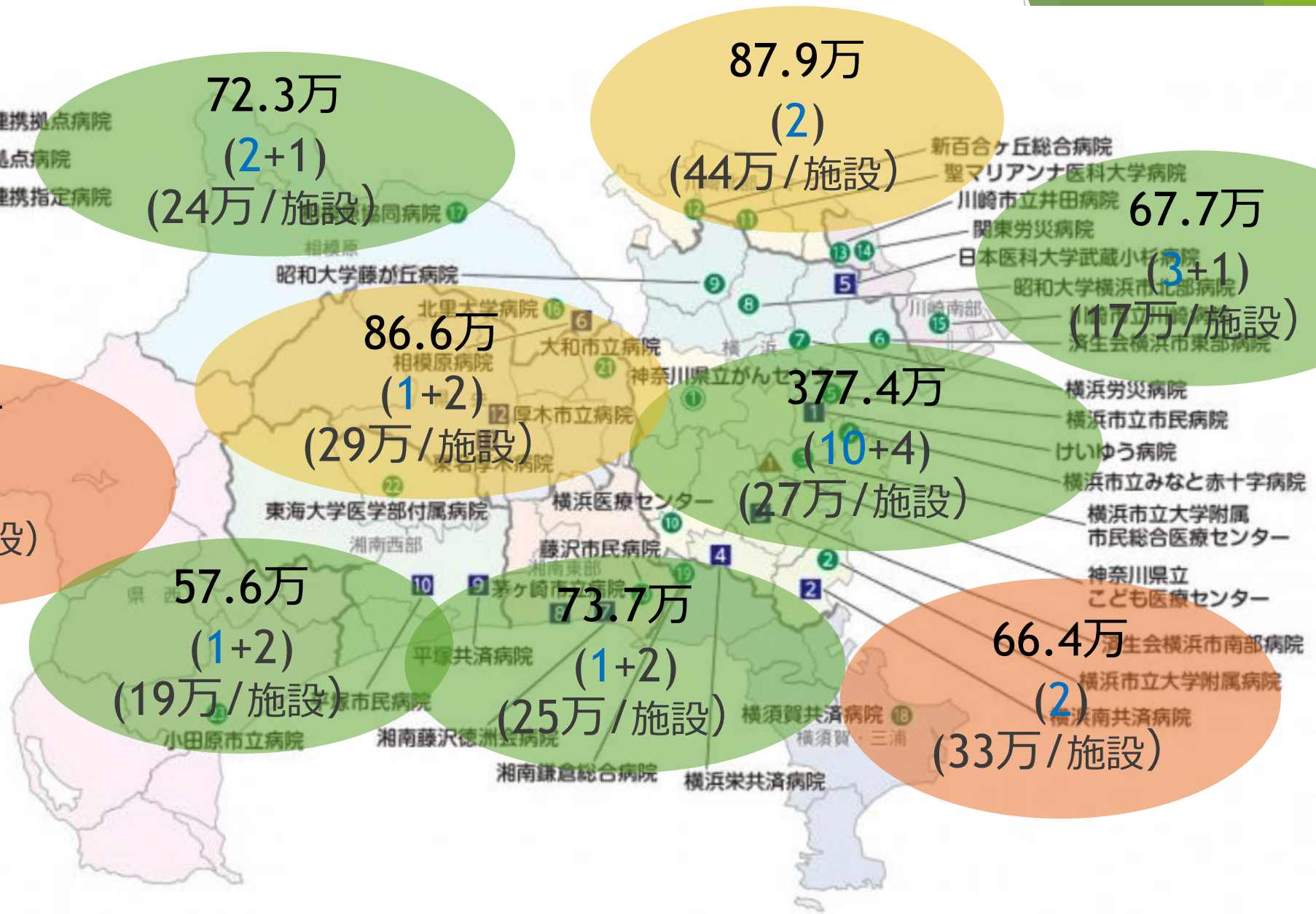
86.6万
(1+2)
(29万/施設)

377.4万
(10+4)
(27万/施設)

57.6万
(1+2)
(19万/施設)

73.7万
(1+2)
(25万/施設)

66.4万
(2)
(33万/施設)





- 都道府県がん診療連携拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 神奈川県がん診療連携指定病院
- ▲ 小児がん拠点病院

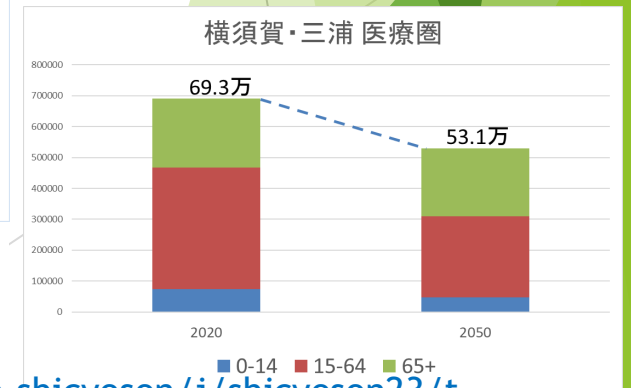
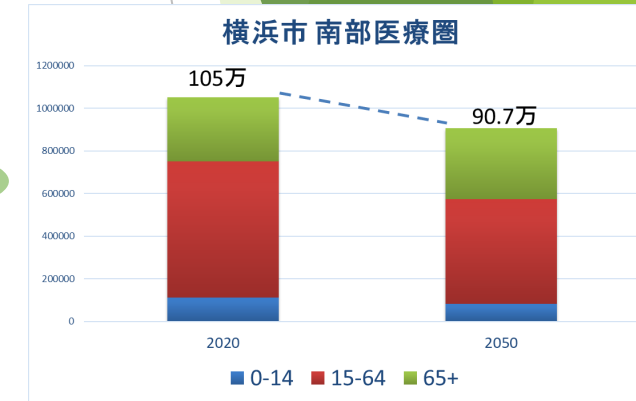
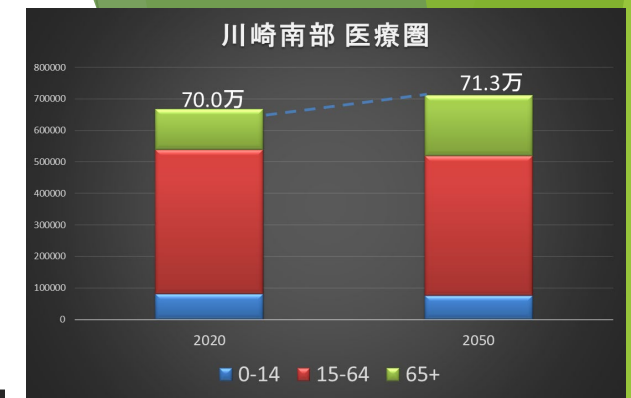
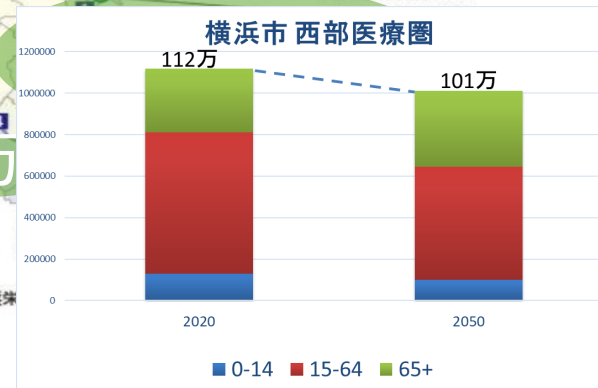
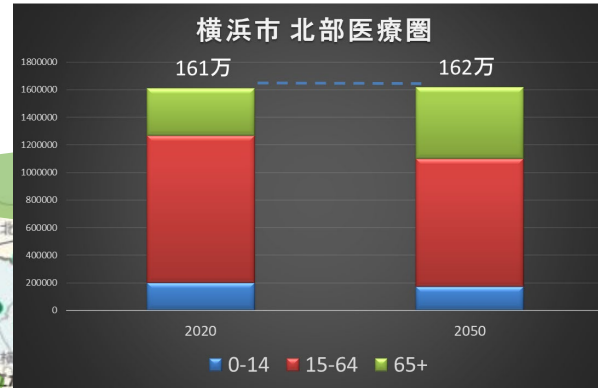
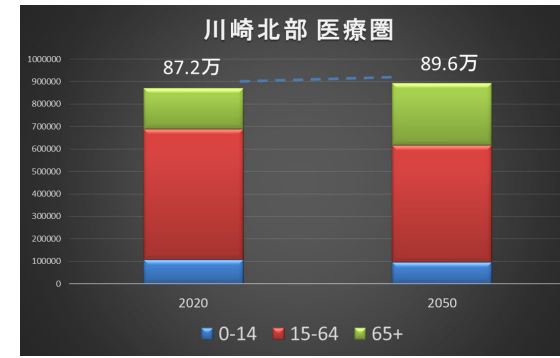
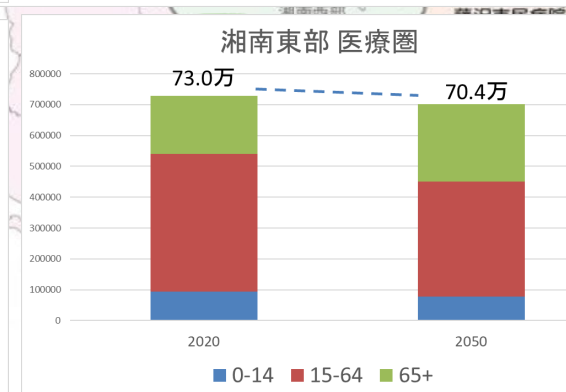
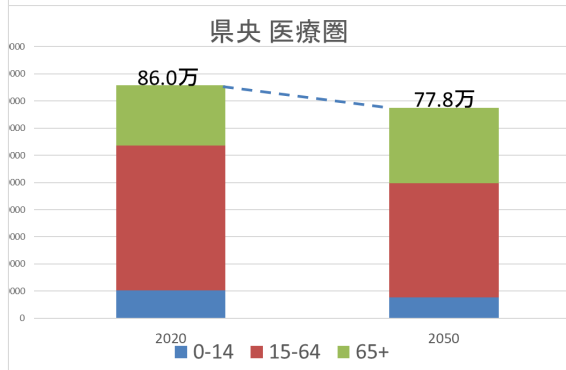
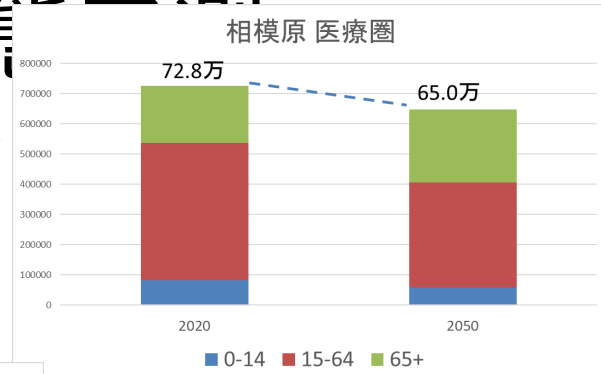
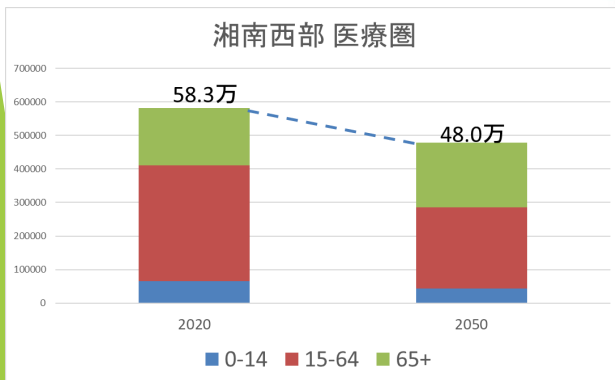
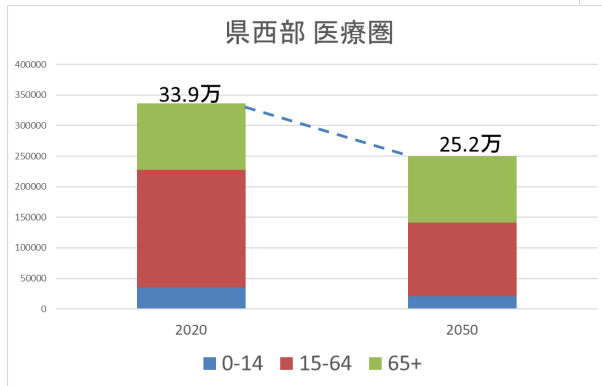


医療圏別 年齢階級別

人口動態

(2020年 vs. 2050年)

922万 ⇒ 852万



かながわのがん対策

がん検診は早期発見につながります！

▶ イベント情報 「ピンクリボンかながわ」や各種研究会など、がん対策に関連するイベントの情報をお知らせしています。	▶ がんを知る がんに関する基礎知識のほか、県におけるがんの現状についてお知らせしています。	▶ がんの予防 がんの未病改善(生活習慣改善)に関する情報のほか、早期発見・早期治療（がん検診）の受診方法などについてお知らせしています。
一般の方向けのイベント	がんってなに？	がんの未病改善(生活習慣改善)
事業者向け研修	神奈川県のがんの現状	早期発見・早期治療（がん検診）
医療関係者向けのイベント	がんゲノム医療と治験	がん検診問合せ先
	がん登録	がん検診の精度管理
▶ がんの治療 専門的ながん治療を受けることができる病院の一覧のほか、医療関係者向けの情報をお知らせしています。	▶ がんとの共生 がんに関する相談窓口や緩和ケア、がん治療と仕事の両立支援など、社会生活を送っていくうえで必要な情報をお知らせしています。	▶ 県の取り組み 県の条例や計画、助成事業のほか、県が作成しているリーフレットなどの情報をお知らせしています。
病院を探す、調べる	緩和ケア	神奈川県がん克服条例
医療関係者のみなさまへ	がん相談	神奈川県がん対策推進計画
小児・AYA世代のがん	がん患者会	がん教育
神奈川県がん診療連携協議会	がん治療と仕事の両立支援	妊孕性(にんようせい)温存治療・温存後生殖補助医療
がん診療医科歯科連携	かながわ治療と仕事の両立推進企業	がんサポートハンドブック
神奈川県医療連携手帳	男性用トイレにサニタリーボックスを設置している県有施設	その他がん対策関連リーフレット

拠点病院 23施設のみ

			がん診療連携拠点病院の診療実績等一覧															(令和5年1月1日～12月31日)				
二次医療圏名	都道府県・地域	病院名	病床数	年間入院患者数の状況		院内がん登録	治療件数（手術件数）の集計															
				入院がん患者数	入院患者数に占めるがん患者の割合	院内がん登録数	悪性腫瘍の手術件数	大腸がん			肺がん		胃がん				乳がん			肝臓がん		
								開腹手術	腹腔鏡下手術	内視鏡手術	開胸手術	胸腔鏡下手術	開腹手術	腹腔鏡下手術	EMR	ESD	手術	乳腺腫瘍摘出術（生検）	乳房再建術	その他	開腹手術	腹腔鏡下手術

がん診療連携拠点病院の診療実績等一覧													(令和5年1月1日～12月31日)				
放射線治療													薬物療法	緩和ケア			相談支援センター
放射線治療のべ患者数	治療別のべ患者数							部位別のべ患者数					がんに係る薬物療法のべ患者数	緩和ケアチームに対する新規診療症例数(人)	年間のべ相談件数		
	体外照射	定位照射(脳)	定位照射(体幹部)	強度変調放射線治療(IMRT)	粒子線治療 (重粒子線、陽子線治療)	密封小線源治療	核医学治療	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん		緩和ケアチームに対する新規介入患者数		身体症状	精神症状

かながわのがん対策

がん検診は早期発見につながります！

▶ イベント情報 「ピンクリボンかながわ」や各種研究会など、がん対策に関連するイベントの情報をお知らせしています。	▶ がんを知る がんに関する基礎知識のほか、県におけるがんの現状についてお知らせしています。	▶ がんの予防 がんの未病改善(生活習慣改善)に関する情報のほか、早期発見・早期治療（がん検診）の受診方法などについてお知らせしています。
一般の方向けのイベント	がんってなに？	がんの未病改善(生活習慣改善)
事業者向け研修	神奈川県のがんの現状	早期発見・早期治療（がん検診）
医療関係者向けのイベント	がんゲノム医療と治験	がん検診問合せ先
	がん登録	がん検診の精度管理
▶ がんの治療 専門的ながん治療を受けることができる病院の一覧のほか、医療関係者向けの情報をお知らせしています。	▶ がんとの共生 がんに関する相談窓口や緩和ケア、がん治療と仕事の両立支援など、社会生活を送っていくうえで必要な情報をお知らせしています。	▶ 県の実り 県の条例や計画、助成事業のほか、県が作成しているリーフレットなどの情報をお知らせしています。
病院を探す、調べる	緩和ケア	神奈川県がん克服条例
医療関係者のみなさまへ	がん相談	神奈川県がん対策推進計画
小児・AYA世代のがん	がん患者会	がん教育
神奈川県がん診療連携協議会	がん治療と仕事の両立支援	妊孕性(にんようせい)温存治療・温存後生殖補助医療
がん診療医科歯科連携	かながわ治療と仕事の両立推進企業	がんサポートハンドブック
神奈川県医療連携手帳	男性用トイレにサニタリーボックスを設置している県有施設	その他がん対策関連リーフレット

// 神奈川県悪性新生物登録事業（地域がん登録）年報

- [「神奈川県悪性新生物登録事業（地域がん登録）年報」](#)を公開しています。

院内がん登録

院内がん登録とは、がん診療連携拠点病院等で実施されており、医療機関内でがんの診断や治療を受けた全患者について、がんの診断や治療等に関する情報を登録する仕組みです。

国立がん研究センターでは、全国のがん診療連携拠点病院等が実施している院内がん登録のデータを集計・公表し、病院ごとのがん診療状況を比較することで、がん診療の方向性等を検討することに役立てています。

- [2022年院内がん登録 全国集計 県内集計 \(PDF : 3,968KB\)](#)



※元データは下記サイトにあります。

[「がん診療連携拠点病院等院内がん登録全国集計」（国立がん研究センター）のページ](#) 

2022年 院内がん登録 全国集計

神奈川県がん診療連携協議会 院内がん登録部会

神奈川県 拠点+指定 (施設別)

※10症例未満は 概数で表示

神奈川県 拠点+指定 (施設別部位別 全登録数)

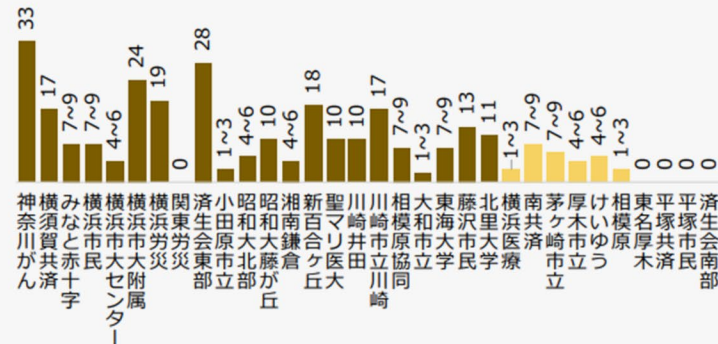
※セカンドオピニオンを除く全登録数
※10症例未満は 概数で表示

神奈川県 拠点+指定 (施設別部位別 詳細)

10症例未満は 概数で表示しています

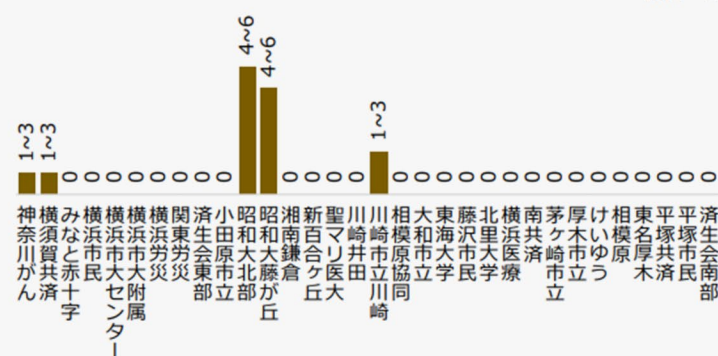
外科手術

合計 298
割合 42%



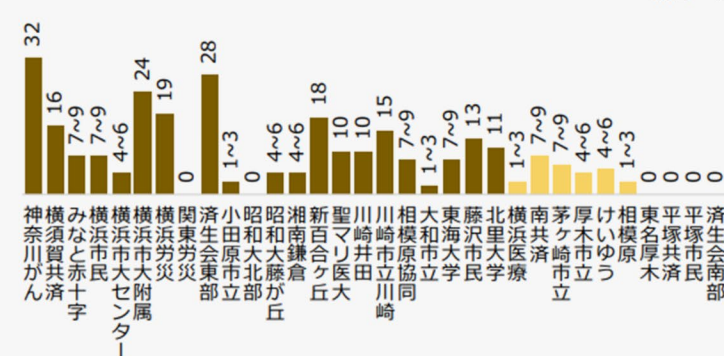
うち開創

合計 15
割合 2%



うち鏡視下

合計 283
割合 40%



前立腺癌 Ⅲ期

施設別登録数の10症例未満は 概数で表示しています

健生が発 0829 第 5 号
令和 7 年 8 月 29 日

都道府県衛生主管部（局）長殿

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課長
（ 公 印 省 略 ）

2040 年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る
基本的な考え方及び検討の進め方について

4. 都道府県協議会での均てん化・ 集約化の検討の進め方について

(1) 都道府県協議会の体制

- ▶ 都道府県及び都道府県がん診療連携拠点病院は、都道府県協議会の運営を担うこと。都道府県は、地域の医療提供体制を維持・確保する観点から、地域医療構想や医療計画と整合性を図ること。
- ▶ 都道府県協議会には、拠点病院等、地域におけるがん医療を担う者、患者団体等の関係団体の参画を必須とし、主体的に協議に参加できるよう運営すること。
- ▶ 特に、拠点病院等までの通院に時間を要する地域のがん患者、及び当該地域の市区町村には、当該都道府県のがん医療提供体制の現状や、今後の構築方針について、十分に理解を得られるよう対応すること。

二次医療圏 の 個別性

(2) 都道府県協議会での協議事項

- ▶ 国及び国立がん研究センターから提供される将来の人口推計や、都道府県内・がん医療圏内の将来のがん患者数、院内がん登録のデータ等を活用し、将来の医療需要から都道府県内で均てん化・集約化が望ましい医療の具体について整理すること。
- ▶ また、**がん種ごと**にがん医療提供体制の均てん化・集約化を議論し、都道府県内で役割分担する医療機関について整理・明確化すること。

二次医療圏 の 個別性

(2) 都道府県協議会での協議事項

- ▶ 都道府県内の放射線療法に携わる有識者の参画の下、放射線療法に係る議論の場を設け、都道府県内の放射線治療施設における放射線治療患者数・放射線治療装置数・放射線療法を提供する医療従事者専門医数等といった情報を正確に把握し、採算に関する分析も踏まえて、将来的な装置の導入・更新を見据えた計画的な議論を行うこと。

（３）都道府県協議会の運営に際する都道府県及び都道府県がん診療連携拠点病院の役割

- ▶ 都道府県協議会で整理・明確化した、がん種ごとに役割分担する医療機関について、住民に広く周知すること。
- ▶ また、がん患者を紹介する医療機関（がん検診を実施する医療機関を含む）にも都道府県内で役割分担する医療機関を周知し、がん患者が適切な医療機関で受療できるような体制を整備すること。

県HP

（４）都道府県協議会での均てん化・集約化の検討の留意事項

- ▶ 集約化も含めた持続可能ながん医療提供体制の構築が必要であるという点について、都道府県が中心となり、住民の理解を得るために、住民にとって分かりやすい説明を継続していく必要がある。
- ▶ **地域医療構想や医療計画を踏まえた**、がん以外も含めた地域の医療提供体制を維持・確保する観点についても留意することが重要である。